



SOKA
UNIVERSITY
GRAND DESIGN
2015-20



創立50周年を目指した 「創価大学グランドデザイン」

2010年に発表した創価大学グランドデザインでは、少子化・多様化の時代にあって、本学が今後も競争的環境下において選ばれる大学であり続けるために、その目標・計画を戦略的に示し、創立50周年に向けた大学像と具体的な取り組みの全体像を明らかにしたものです。

- ・建学の精神を基本に本学で学んだ人材を社会に輩出する使命
- ・その人材を養成するための具体的な教育・研究システム
- ・その教育・研究をサポートする大学の総合的な環境の整備

この3点を柱に、グランドデザインを策定しました。



本学は、創立50周年の創価大学像を「建学の精神に基づき『創造的人間』を育成する大学」と定めました。

【創価大学 建学の精神】

- 一、人間教育の最高学府たれ
- 一、新しき大文化建設の経綫(ようらん)たれ
- 一、人類の平和を守るフォートレス(要塞)たれ

建学の精神は私立大学の原点であり、これを基盤に「創造的人間」を育成し、社会に優れた人材を輩出することが本学のヴィジョンです。そして、その実現のための中長期計画がグランドデザインなのです。

「創造的人間」とは

1971年の開学以来、本学は建学の精神の実現を目指して、不断の改革を継続し、発展を遂げてきました。本学が育成する人材像を端的に表現したのが「創造的人間」です。

この「創造的人間」というキーワードを中心に、育成する人材像を体系化しました。



「創造的人間」を 育成する大学とは

「創造的人間」は、「知力」と「人間力」が基礎をなしています。「知力」とは、「読む・書く・聞く・話す」力を基礎とした「分析する力・統合する力・創造する力」、**「人間力」とは、「信念を実践的に継続する力・他者と協同する力」**のことをいいます。この「知力」と「人間力」を鍛える中で、自己の可能性を見出していくと考えています。

本学は、学生一人ひとりが有している可能性を「自分力」と宣言します。さらに、学生の可能性を引き出すことに挑戦し、「創造的人間」の育成を目指す本学の姿勢を「Discover your potential 自分力の発見」というステートメントとして掲げました。

「創造的人間」とは、「知力」と「人間力」を鍛え、同僚なき成長を繰り返しく存在であり、本学はこうした人材の輩出に取り組みます。





「創価大学グランドデザイン2015-20」とは

2010年のグランドデザインの構想発表後、本学が着実に各項目で掲げた取り組みを進める中、我が国の高等教育において、大学のグローバル化が重点政策へとシフトしました。これにより、文部科学省の競争的資金もグローバル人材育成推進事業(2012年)、スーパーグローバル大学創成支援(2014年)など、グローバル化を推進するための各種事業が次々に発表されました。本学もグランドデザインで策定した国際化の戦略(数値目標)の達成時期を早め、さらに拡大することで、我が国の高等教育における重点政策に対応してきました。

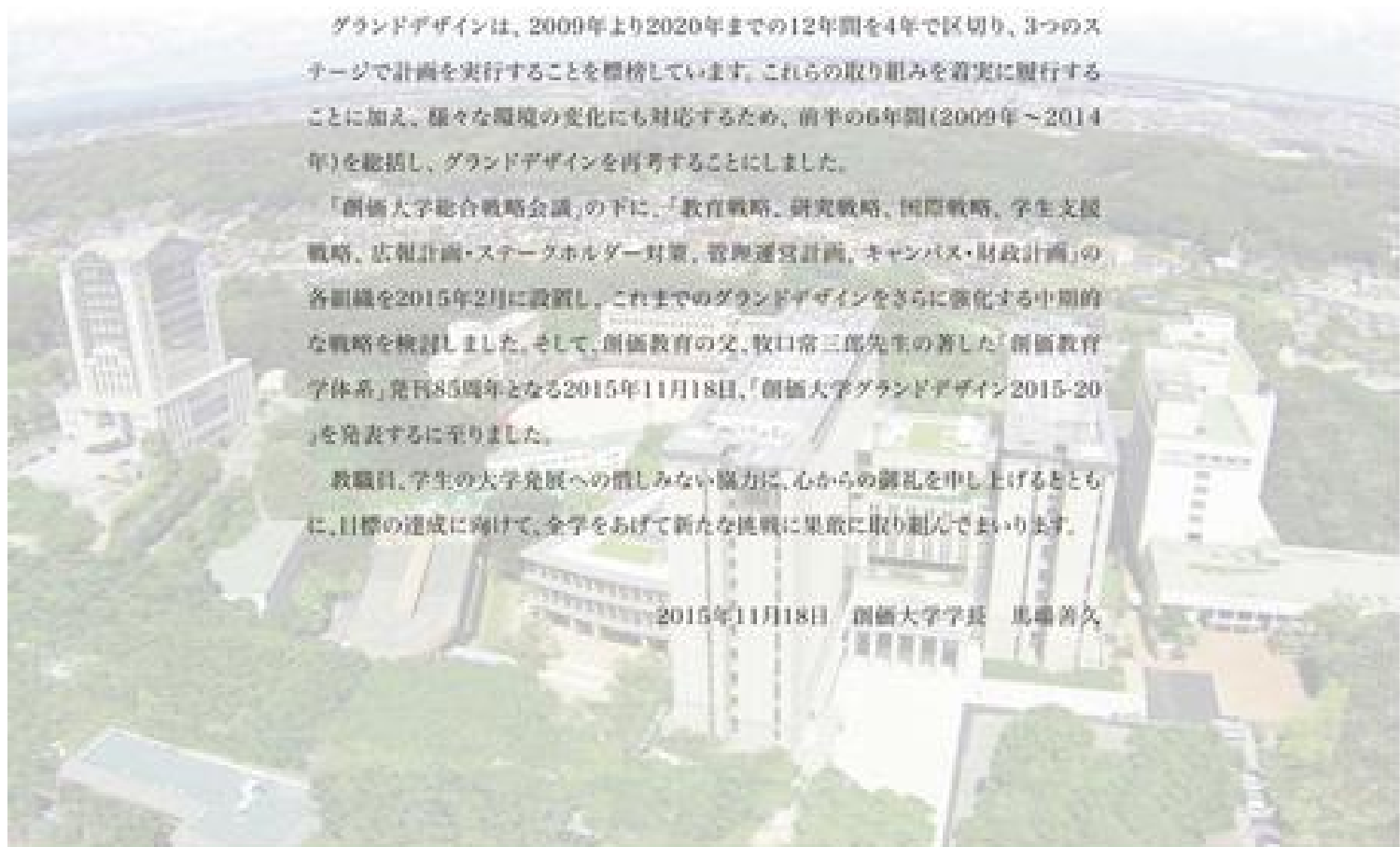
こうした高等教育政策は、グローバル化の推進にとどまらず、高大接続(入試選抜制度)に関する抜本的な改革の他、各大学における教育の質的転換を強く求めるなど、2010年の本学のグランドデザインの発表後も、ドラスティックに変化しています。

グランドデザインは、2009年より2020年までの12年間を4年で区切り、3つのステージで計画を実行することを標榜しています。これらの取り組みを着実に履行することに加え、様々な環境の変化にも対応するため、前半の6年間(2009年～2014年)を総括し、グランドデザインを再考することになりました。

「創価大学総合戦略会議」の下に、「教育戦略、研究戦略、国際戦略、学生支援戦略、広報計画・ステークホルダー対策、管理運営計画、キャンパス・財政計画」の各組織を2015年2月に設置し、これまでのグランドデザインをさらに強化する中期的な戦略を検討しました。そして、創価教育の父、牧口常三郎先生の著した「創価教育学体系」発刊85周年となる2015年11月18日、「創価大学グランドデザイン2015-20」を発表するに至りました。

教職員、学生の大学発展への情しみなない協力は、心からの御礼を申し上げますとともに、目標の達成に向けて、全学をあげて新たな挑戦に果敢に取り組んでまいります。

2015年11月18日 創価大学学長 馬場善久



創価大学グランドデザインの 各項目の取り組み

グランドデザインでは、「創造的人間」の基礎をなす「知力」と「人間（教育、研究、学生支援、国際）」に分け、さらにその取り組みを具体化するためには、確かな経営基盤を構築しつつ、ガバナンスの強化や施設の充実に年までを3つのステージに分割し、その戦略・計画をまとめたものが以下

	I. 教育戦略	II. 研究戦略	III. 学生支援戦略	IV. 国際戦略
第1ステージ 2009-2012 1	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラム改革ロードマップ作成 大学科目群(SOKAプログラム21)設置 創価コアプログラム充実と教養教育体系化 ブレイスメント活用言語・非言語対策科目設置 「働く力」「伝える力」養成科目設置 GCP開設 「学士課程教育機構」設置 「総合学習支援センター」(SPACe)開設 「学生ポートフォリオ」の導入 「社会福祉専修」設置 「看護学部」開設 学生による「出身高校訪問制度」実施 学生による「キャンパスツアー」実施 入学準備プログラム再考 3年終了時「ジュニアペーパー」提出する科目設置 	<ul style="list-style-type: none"> 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」学内申請ルール策定 学内研究費補助配分全学実施 「研究開発推進助成金」事業実施 「次世代共同研究プロジェクト」事業実施 2011年度以降FD活動方針策定 「創価教育研究所」強化 	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金拡充 「全学キャリア委員会」設置 「進路仮決め制度」導入 「学生生活ポリシー」決定 「学生寮アドバイザー制度」導入 「クラブ顧問会議」開催 進路の教値目標明示 	<ul style="list-style-type: none"> 英語中位レベル対象「海外留学コース」開設 英語・主要第2外国語「短期研修プログラム」実施 「国内多文化体験プログラム」 「国際日本学・日本文化研修プログラム」 「JapanStudiesProgram」 「日本語・日本文化教育センター」認定留学制度拡充
第2ステージ 2013-2016 2	<ul style="list-style-type: none"> 「新キャリアカリキュラム」開始 「国際教養学部」開設 「理工学部共生創造理工学科」開設 大学科目群(SOKAプログラム21)充実 「学習ポートフォリオ」の検証・活用 大学院再編 「初年次教育推進室」設置 学生ポートフォリオの改善 21世紀型スキル・コンピテンシー養成を旨とする共通科目の構築 学内外におけるeラーニングコンテンツの拡充 より深い学びを促すアクティブ・ラーニングの展開 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな研究成果発表展開 教員の総合的業績評価システム導入 研究推進委員会による審査制度改善・整備 研究活動における不正行為防止強化 競争的資金の増額 	<ul style="list-style-type: none"> 新宿・大塚間シャトルバス 100円朝食 キャンパス全面禁煙化 出席確認システム完全導入 アルバイト生・自宅生支援 学生寮国際的展開 「課外活動ガイドライン2014」発表と取組 教職員への対話力強化 地方リターン希望者への進路・就職活動支援 学生の就業力育成に資する支援の強化 留学生への学習・キャリアサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 渡日前入学許可制度 条件付入学制度 奨学金制度拡充 留学のための英語プログラム(ES) キャリアのための英語プログラム(ES) 「CD」開設 多国籍大学ネットワーク参加 海外交流校と記念行事開催 GM: 派遣・受入留学生の拡充 GL: シラバスの英語化 GL: English Trackの展開 GA: 学内文書英語化推進プロジェクト GC: 「グローバル・コア・センター」
第3ステージ 2017-2020 3	<ul style="list-style-type: none"> 学部組織の再編成 ICT教育の新展開へ向けた環境の整備 高大接続と入試改革 「学部・修士5年一貫教育プログラム」導入 	<ul style="list-style-type: none"> 「創価教育国際会議」開催 海外池田研究所との連携強化 「研究推進センター」開設 		<ul style="list-style-type: none"> GA: 海外拠点形成(フィリピン) GA: 教職員構成のグローバル化 GC: 大学院「平和・世界市民研究科」(仮称)の設置

建学の精神に基づき「創

力」を向上させる取り組みを、4つの戦略
 した。また、これらの戦略の推進にあたっ
 によってサポートしていきます。そして、2020
 の図となります。



	Ⅷ. 通信教育	V. 広報計画・ ステークホルダー対策	Ⅵ. 管理運営計画	Ⅶ. キャンパス・財政計画
講学 検討 課外 教育	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 通信教育制度改革 ▶ eラーニング対応教育コンテンツ拡充 ▶ eラーニングの授業外学習活用 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ホームページリニューアル ▶ ブランディング推進 ▶ エクステンションプログラム展開 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「大学教育研究評議会」設置 ▶ 「大学院教育研究評議会」設置 ▶ 「学長室会議」設置 ▶ 「職員の業務評価制度」検討 ▶ 危機管理体制構築 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「財政計画検討委員会」設置 ▶ 校舎建設（中央教育棟、6棟改修工事等） ▶ 学内情報インフラ整備・強化 ▶ 図書館の情報拠点機能強化 ▶ 学生センター建設
関係 協 働	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習支援推進室等設置 ▶ 「創価コアプログラム」設置 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「ステークホルダー連携推進室」設置 ▶ 卒業生対応セクション強化（校友課） ▶ 積極的な情報発信 ▶ 積極的な情報公開 ▶ 教員情報発信強化 ▶ インナーコミュニケーション強化 ▶ 「ブランディング戦略2015-20」策定 ▶ 都心オフィスを中心とした広報活動の強化 ▶ 卒業生等支援者のサポーターズサイト充実 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「男女共同参画推進センター」設置 ▶ コンプライアンス強化 ▶ 事務局のリストラクチャリング ▶ 女性教員比率向上（男女共同参画） ▶ 次世代女性教員育成（男女共同参画） ▶ 管理運営の強化（意思決定の迅速化・経緯再編・省力化） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「総合建設委員会」設置 ▶ 新学部設置（看護学部棟） ▶ 新学生寮建設 ▶ 中長期財政計画の策定 ▶ 経常収支差額の黒字化 ▶ 新学生寮の建設（新潟山形、新女子寮）
学 校 活 動 支 援		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ステークホルダー連携推進室と地域連携センターの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「創立50周年記念行事」実施 ▶ 「創立50年史」完成 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「創立50周年寄付事業」実施 ▶ キャンパス整備

※▶の取り組みが「創価大学グランドデザイン2015-20」で新たに掲げたものです。

「造的人間」を育成する大学

数字で見るグランドデザイン



語学力基準達成学生数 (TOEIC730点以上相当)		
2012年	—	実績 217 名
2014年	目標 310 名	実績 693 名
2020年	目標 1,050 名	—

科学研究費助成事業採択件数		
2009年	—	実績 27 件
2014年	—	実績 44 件
2020年	目標 86 件	—

給付奨学金受給者数		
2009年	—	実績 728 名
2014年	—	実績 1,633 名
2020年	目標 2,095 名	—

進路・就職決定率		
2009年	—	実績 73.0 %
2014年	目標 85.0 %	実績 86.3 %
2020年	目標 90.0 %	—

外国人受入留学生数 (海外から日本へ)		
2009年	—	実績 277 名
2014年	目標 325 名	実績 401 名
2020年	目標 982 名	—

日本人派遣留学生数 (日本から海外へ)		
2009年	—	実績 292 名
2014年	目標 790 名	実績 933 名
2020年	目標 1,020 名	—

大学の未来をデザインする。